



つじどう小だより

2026年3月6日

藤沢市立辻堂小学校

校長 納富 崇典

学校づくりアンケートへのご協力ありがとうございました（学校評価まとめ）

次年度に向けて、充実した教育活動とよりよい学校づくりのため、2学期末に3、5年の児童、および保護者を対象とした「学校づくりアンケート」(学校評価)を実施しました。今年度の結果を振り返りますと、全体として「A:よくあてはまる」「B:だいたいあてはまる」の肯定的な回答の割合が非常に高く、子どもたちが落ち着いて前向きに学校生活を送っている様子がうかがえます。児童アンケートの結果からは**豊かな人間性と規範意識の育ち**

3、5年児童 まとめ

%

	質問	A	B	C	D
①	学校は楽しいです。	58	35	6.2	1.4
②	登下校で近所の人や学校であった人にあいさつをしています。	45	45	6.5	3
③	まわりの人と仲良くしたり、協力したりしています。	56	40	3.3	0.3
④	友だちにやさしく、親切にしています。	47	49	3.2	0.3
⑤	授業で「わかった」、「できた」と思うことがあります。	52	42	4.6	1.1
⑥	授業では、友だちの意見を聞いて自分の考えを広げることができます。	32	50	16	2.4
⑦	目標を決めてそれに向かって頑張ることができます。	39	47	12	1.9
⑧	自分自身を振り返って考えることができます。	33	42	20	5.1
⑨	いじめや困りごとがあった時、相談できる先生や友達があります	66	26	5.4	2.4
⑩	運動会や遠足などの行事に、楽しく取り組みます。	51	39	7.8	1.6
⑪	登下校の交通ルールや、歩く時のマナーを守っています。	52	45	2.4	1.1

3、5年保護者 まとめ

%

	質問	A	B	C	D
①	お子さんは、学校が楽しいと言っている。	38	55	6.4	0.6
②	お子さんは、すすんであいさつをしている。	28	57	14	1.5
③	学校は、わかりやすい授業に努めている。	30	65	4.3	0.3
④	学校は、保護者や児童からの相談を通じて、いじめ・暴力防止に取り組んでいる。	26	66	7.8	0.6
⑤	学校は、面談などを通じてお子さんについての相談を聞く体制をついている。	47	50	3.2	0
⑥	学校は、安全対策(防災・避難訓練・交通安全・不審者等)について指導や取り組みをしている。	47	50	3.5	0
⑦	学校は、子どもたちがすすんで活動できる場面や行事を目指して、取り組んでいる。	34	58	6.7	0.6
⑧	学校は、お便りやホームページなどで教育活動の様子を広く発信している。	39	56	5.5	0
⑨	家庭では、子どもの登校の様子や交通ルールを守っているかなど確認し、指導している。	31	61	7.3	0.3
⑩	家庭では学校の教育活動に協力しようとしている。	29	68	2.9	0
⑪	家庭では、学校からのお便りやメールなどに目を通している。	48	49	2.9	0

が読み取れます。③「まわりの人と仲良くしたり、協力したりしています」④「友だちにやさしく、親切にしています」の項目では、肯定的な回答(A+B)が共に96%を超えました。本校の学校教育目標である『人間性豊かでたのしい子』の姿が着実に育っていることを、大変嬉しく思います。課題としては⑥「友達の意見を聞き考えを広げる」⑦「目標を決めて頑張る」の項目で、肯定的な回答がやや低い傾向がありました。

対話を通じた深い学びや自ら目標を立てて粘り強く取り組む力の育成を、今後の課題として全校で取り組んでまいります。

保護者アンケートの結果からは**安心・安全な学校づくりと学習指導**が読み取れます。⑤「学校は、面談などを通じてお子さんについての相談を聞く体制をついている」⑥「学校は、安全対策について指導や取り組みをしている」の項目において、ともに約97%の肯定的な評価をいただきました。

また、③「学校はわかりやすい授業に努めている(約95%)」といった結果からも、教職員の取り組みにご理解をいただき、子どもたちが安心して学びに向かっている様子をご家庭でも感じていただけていることがわかります。課題としては①「お子さんはすすんで挨拶をしている」の項目が約85%と、他と比べやや低い結果となりました。学校でも指導を継続いたしますので、ご家庭や地域でも気持ちの良いあいさつが響き渡るよう、引き続きのお声がけをお願いいたします。

保護者記述欄より

○⑩についての意見 「紙のプリントは読んでいるが読み抜けしまうことも多くて、重要なことはアプリなどで発信していただけるとありがたいです」

→ 学年だよりは各学年、学校ホームページに掲載していたり、学級や廊下にも紙で掲示したりして、確認できるようにしています。連絡ツール「すぐーる」の配信機能は便利なのですが、教育委員会からの配信も多いため、大事なものは、現在紙で配付するようにしています。また、現状では「すぐーる」配信について、見落としてしまうという意見もいただいているため、このような対応となっています。電子化を進めることについては、改めて検討していきたいと考えています。

○⑦についての意見「子どもたちが協力して作り上げる行事がほとんどないように思う。運動会もクラス対抗などがなくて、1年間を過ごす仲間とクラス一丸となって生徒たちが協力して活動する場面があっても良いと感じています。」

→ 行事や総合的な学習の時間において、まとまった時間をかけて仲間との絆づくりを意識して取り組んでいますが、改めて意識していく必要はあると考えています。運動会は、児童の満足度や教育効果が以前より大きく劣っているというものではないと認識していますが、勝敗をつけることについての効果等も鑑み、来年度の企画時に話し合っ参ります。

○⑤についての意見「学校生活をはじめ、成長と共に子どもが悩んだり、自分の行動に迷ったりするシーンも多く、親との面談もとても貴重でありがたいのですが、おとなの社会だけでなく、先生と子どもとの1on1ミーティングがあるとより良いと思っています。」

→ 年間に2回以上「学校生活についてのアンケート」を実施しており、学校生活についての満足度や、いじめに有っていないか、先生に伝えたいことがないか等、統一した項目をつくって悩みや困りごとを聞く機会をつくっていますが、対面での面談を実施している学級は少ないと思います。日頃から、悩みなどを話せる関係づくりを心がけることを第一としますが、ご意見いただいたことを、今後の学級経営に活かして参ります。

学校評議員の皆様から

○ どの項目もA、B評価が90%を超えているのは先生方が前向きに学校づくりを行っている証だと思います。

⑦⑧について児童からも保護者からも高評価で相談体制や連携ができていて素晴らしいことです。学校目標や年間指導計画の評価がB評価に移行傾向になっている点は年度初めに具体的に進められるようにして授業や行事に盛り込んで展開できること期待致します。

○ 保護者5年生によるアンケート結果は、昨年に比べてDの割合が大幅に減少しています。学校の指導について保護者からの評価が見て取れます。

○ ②の挨拶についての項目についてですが、朝の交通指導をボランティアでやって7年たちますが、挨拶を返してくれない子が少しずつ増えています。保護者が挨拶をする家庭は子どもも進んで挨拶をする傾向にあります。

○ 児童アンケートの⑥自分の考えをもつ⑧自分を振り返るについての項目が低いように思います。「自分の言葉で」とか「自分だったらどうするのか」といったことを教員が問いかけることで意識するものだと感じます。

○ 安全対策では非常食を備えるなど安心感が高まったと思います。学校には介助員、学習支援員、特別支援学習の職員もいて、この方々は子どもの気持ちを受け止める役割があり、学校生活の向上において非常に大切な存在なので、意見を聞いてみたいと思いました。